

【仕様書別紙】 対象施設の情報一覧

1. 基本情報（本線・予備線）

施設番号	施設名	需要場所	用途	電力供給方式	標準電圧 (V)	計量電圧 (V)	標準周波数 (Hz)	受電方式	蓄熱設備の有無と容量	自家発電機の有無と容量	余剰電力の売却の有無と売却先	自動検針装置の有無	電力量計の仕様	需給地点	電気工作物の財産分界点	保安上の責任分界点
1	判田浄水場	大分市大字下判田1600	産業用 (浄水場)	交流 3相 3線式	60,000	60,000	60	特別高圧 66kV 2回線受電	無	有 ガスタービン 3,000kVA (非常用)	無	有	電力需給用 複合計器	66kV引込鉄塔からの引込線に設置した 圧縮型開閉ジャンバスリーブの電源側端子	同左	同左
2	大津留浄水場	大分市大字大津留253	産業用 (浄水場)	交流 3相 3線式	60,000	60,000	60	特別高圧 66kV 2回線受電	無	有 ディーゼル 75kVA ガスタービン 1,500kVA (非常用)	無	有	電力需給用 複合計器	66kV引出口ブッシングの 電源側端子	同左	同左

2. 契約電力(最大電力)

施設番号	施設名	需要場所	契約種別	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	最大需要電力 (kW)	契約電力
1	判田浄水場	大分市大字下判田1600	特別高圧	2,990	2,990	2,990	2,990	2,990	2,990	2,990	2,990	2,990	2,990	2,990	2,990	2,990	2,990
2	大津留浄水場	大分市大字大津留253	特別高圧	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600	1,600

3. 予定使用電力量（令和6年4月～令和7年3月実績）

施設番号	施設名	需要場所	契約種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	使用電力量 (kWh)	夏季計 (7月～9月)	その他季計 (夏季以外)
1	判田浄水場	大分市大字下判田1600	特別高圧	1,402,314	1,438,008	1,403,850	1,489,872	1,505,508	1,476,810	1,499,844	1,564,716	1,623,534	1,533,714	1,379,496	1,531,170	17,848,836	4,472,190	13,376,646
2	大津留浄水場	大分市大字大津留253	特別高圧	551,226	561,858	488,514	507,018	509,790	553,482	569,400	572,994	577,680	524,388	503,520	533,064	6,452,934	1,570,290	4,882,644

※計量日：当月1日0時とする

4. 蓄熱電力量（令和6年4月～令和7年3月実績）

施設番号	施設名	需要場所	契約種別	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	使用電力量 (kWh)
1	該当無し															
2	該当無し															

5. 負荷率（令和6年4月～令和7年3月実績）

施設番号	施設名	需要場所	契約種別	最大需要電力 (kW) ①	年間使用電力量 (kWh) ②	負荷率 (%) 【②÷①÷8,760】
1	判田浄水場	大分市大字下判田1600	特別高圧	2,990	17,848,836	68.15%
2	大津留浄水場	大分市大字大津留253	特別高圧	1,900	6,452,934	38.77%

※予定使用電力量は、令和6年4月～令和7年3月実績と同程度と見込む。

※負荷率＝年間使用電力量（kWh）÷最大需要電力（kW）÷8,760（年間時間数＝365日×24時間）×100 小数点第3位を四捨五入

電力用語である負荷率は、ある期間における平均電力と最大電力の比を示したもの。年間を基準として月ごと（季節ごと）の格差（変動の大きさ）を把握したり、1日を基準として昼夜の格差を把握するために使う。

6. 力率（令和6年4月～令和7年3月実績）

施設番号	施設名	需要場所	契約種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
1	判田浄水場	大分市大字下判田1600	特別高圧	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97	97
2	大津留浄水場	大分市大字大津留253	特別高圧	96	96	96	96	96	95	96	96	97	97	97	97	96